

サステナビリティ学とFuture Earthの 持続可能な開発目標(SDGs)への貢献

東京大学
サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)
機構長
武内和彦

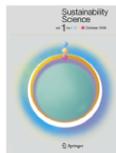
東京大学における サステナビリティ学の歩み

Alliance for Global Sustainability (AGS)設立。東京大学におけるサステナビリティ学の基礎となる。

IR3Sが9大学・研究機関のネットワーク型研究教育拠点として発足（スーパーCOEプロジェクト）
環境研究総合推進費（S-5）を開始



Sustainability Science誌創刊
編集部を運営開始



サステナビリティ学修士課程設立

国連大学との学術交流に関する覚書締結

サステナビリティ学博士課程設立

SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ (IPSi)を発足

G8大学サミット運営に協力、札幌サステナビリティ宣言が採択される。



生物多様性条約第10回締約国会議 (COP10)にて主要な役割を担う。

国内の大学・研究機関ネットワークを担う団体として(一社)サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(理事長:小宮山宏)を発足

第1回サステナビリティ学国際学会 (ICSS)開催 @東京
第2回 ICSS開催 @ローマ(イタリア)

1996

2005

2006

2007

2008

2009

2010

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第4次評価報告書



IR3Sは気候変動および生物多様性の両枠組条約締約国会議(COP)に継続して参加、寄与している。

COP10開催 @名古屋





ガーナにおいて
SATREPSプロジェクト
を開始

サステナビリティ学
グローバルリーダー養
成大学院プログラム
(GPSS-GLI) を開設

第3回 ICSS開催
@テンペ(アメリカ)



第4回 ICSS開催
@マルセイユ(フランス)

第5回 ICSS開催
@東京

第6回 ICSS開催
@ステレンボッシュ(南ア)

国連大学との共同ディ
プロマプログラム開始

ユネスコ本部でサステ
イナビリティ学シンポジ
ウム開催、ユネスコ総会
でサステナビリティ学
に関する文書を配布

世界水の日関連イベン
トの開催

Future Earth
国際事務局日本ハブ
を設置

環境研究総合推進費
(S-15) を開始

2011

2012

2013

2014

2015

2016

Future Earth設立



国連持続可能な開発
会議(リオ+20)



生物多様性及び生態
系サービスに関する政
府間科学政策プラット
フォーム(IPBES)設立

IPCC第5次評価報告書

持続可能な開発目標
(SDGs)採択



持続可能な開発ソリ
ューション・ネットワ
ーク(SDSN) ジャパン
設立



HABITAT3 開催



パリ協定発効



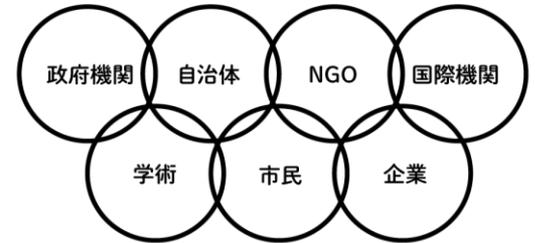
Future Earthの学術基盤としての サステナビリティ学

これまでに立ち上げられた
Future Earth KAN

- 1) 水-エネルギー-食料ネクサス
- 2) 健康
- 3) 都市
- 4) 自然資産
- 5) 持続可能な開発目標
- 6) 生活様式の変容
- 7) 海洋
- 8) 金融・経済



マルチステークホルダー



知と実践のネットワーク
(Knowledge-Action Networks: KANs)

futureearth
research for global sustainability

3つのテーマ

ダイナミックな地球の理解
Dyanmic planet

地球規模の持続可能な開発
Global sustainable development

持続可能な地球社会への変革
Transformations towards sustainability

学術と社会の共進化

サステナビリティ学

超学際性
Transdisciplinarity

共同企画 Co-Design
共同実施 Co-Production
共同実装 Co-Delivery

学際性
Interdisciplinarity

自然科学と
人文・社会科学
の融合

Future EarthのSDGsへの貢献

futureearth

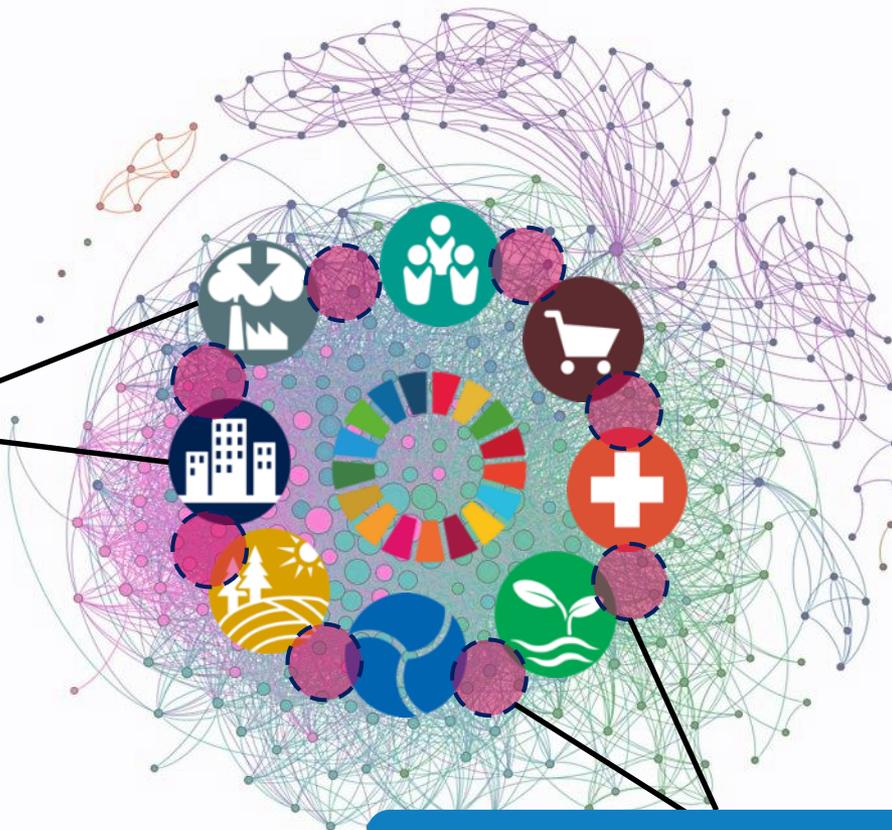
research for global sustainability

持続可能な地球社会の実現をめざす
国際協働研究プラットフォーム

知と実践の
ネットワーク

Knowledge-Action Networks

多様な研究グループや社会の
関係者が、情報や意見を有機的
に交換し、共に課題解決に向か
うための実践的なフォーラム



21の主要研究プロジェクト



SDGs達成を目指す俯瞰型学術・持続型社会 の共創プラットフォームの構築（構想）

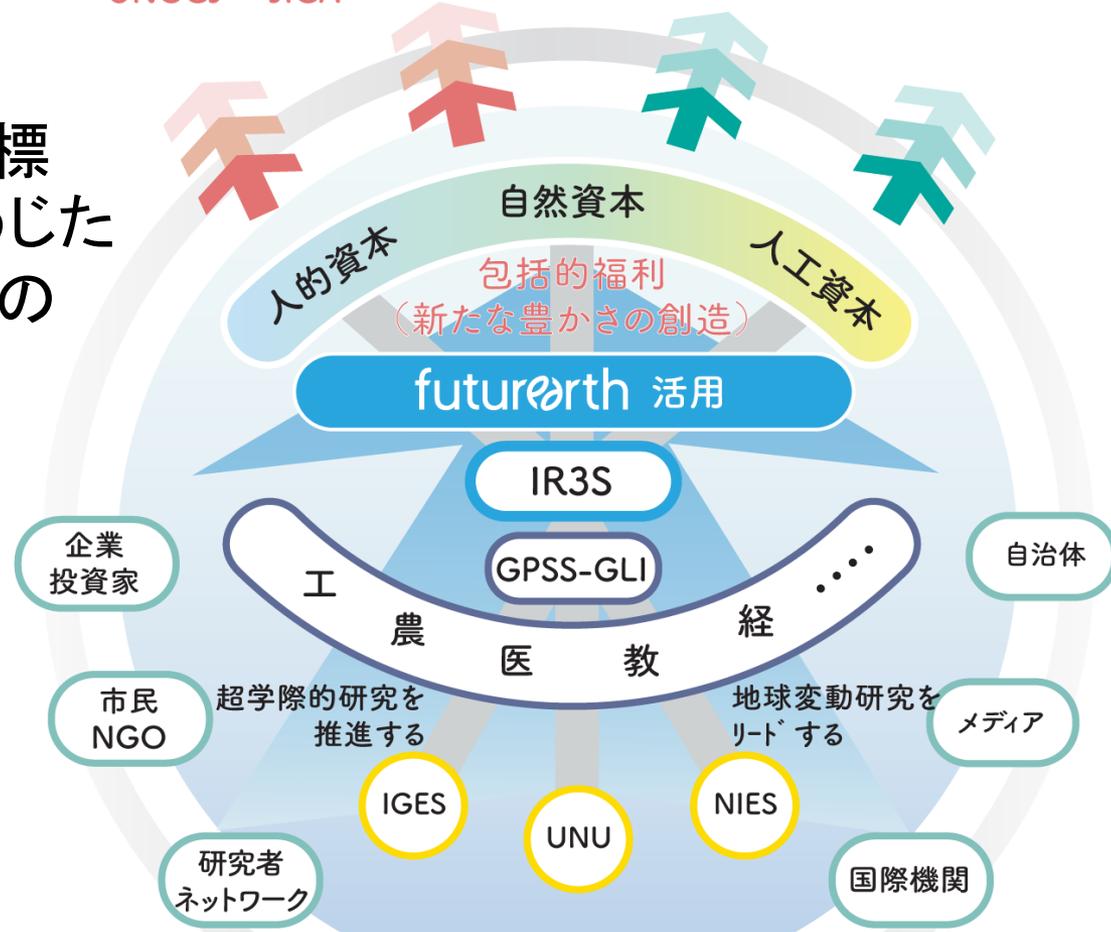
日本におけるSDGsと連携した社会変革

世界のステークホルダーとの連携

UNGCJ JICA

GEF UNESCO SRC UNGC/WBCSD

持続可能な開発目標
(SDGs)の達成をつうじた
持続型社会構築への
貢献



日本のステークホルダーとの共創
(Co-design & Co-production)

自然共生社会とSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任つかう責任 
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です

自然共生社会とSDGs

- 14.1 汚染防止海洋
- 14.2 健全で生産的な海洋を実現
- 14.5 沿岸・海洋資源の持続的な利用
- 14.7 海洋の保全
- 14.b 伝統的漁業者の漁場・市場確保



- 2.3 小規模食料生産者の農業生産性倍増
- 2.4 持続的食料生産システムの確保
- 2.5 遺伝資源と伝統的知識の用
- 2.a 途上国農業生産の強化



- 6.3 水質の改善地域
- 6.4 水の利用効率改善
- 6.6 生態系の保護・回復
- 6.a 国際協力と人材育成支援
- 6.b コミュニティ参加を支援



- 13.1 レジリエンスおよび適応力強化
- 15.1 生態系サービスの保全、回復、利用
- 15.4 山地生態系の保全を確保

- 11.3 包括的かつ持続可能な都市化を促進
- 11.6 都市部の環境影響を軽減
- 11.a 都市、周辺、農村間の良好な連携
- 11.c 持続的でレジリエントな建造物
- 12.2 天然資源の持続的な管理
- 12.4 ヒトの健康や環境への影響緩和
- 12.8 持続的開発・自然調和型ライフスタイル



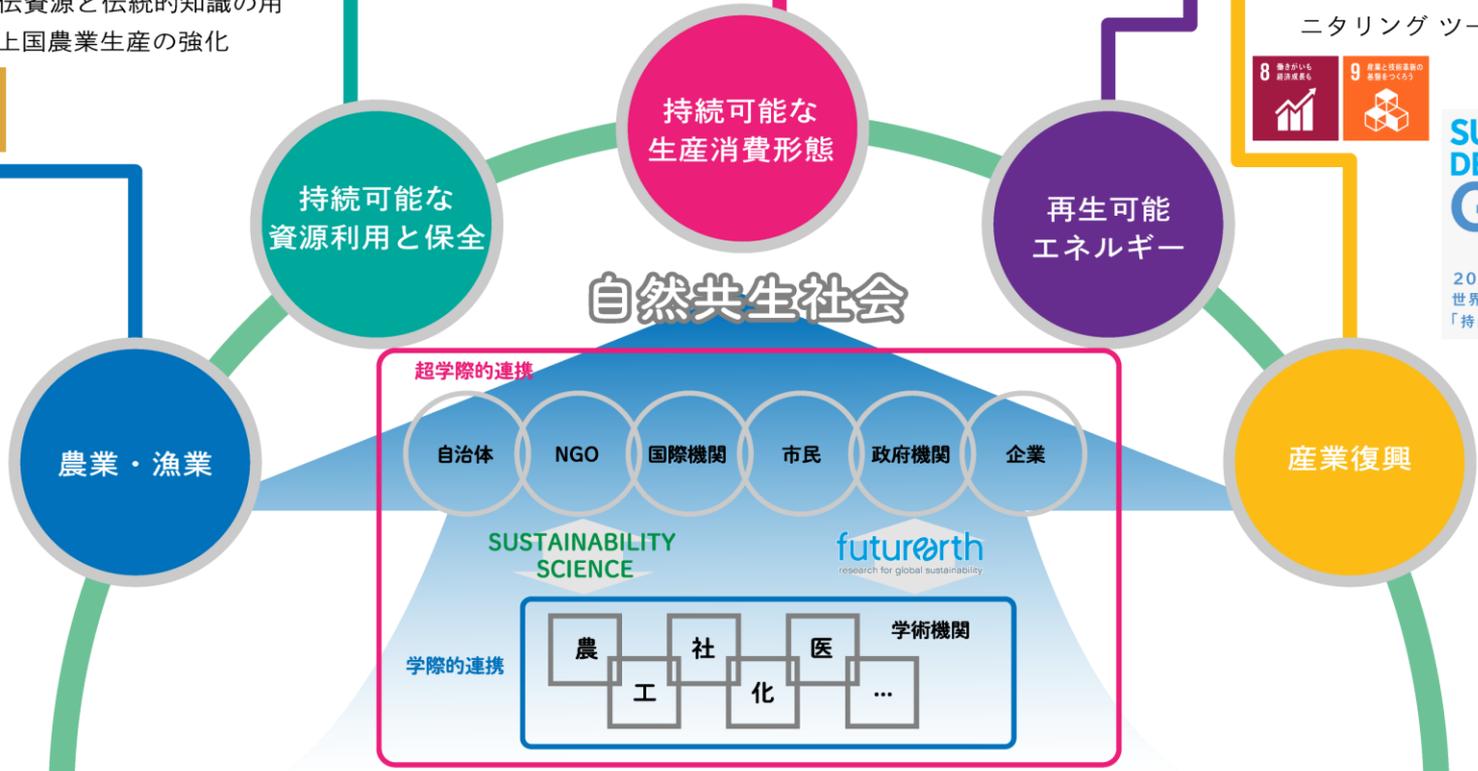
- 7.2 再生可能エネルギーを拡大
- 7.a クリーンエネルギー技術投資促進



- 8.2 経済生産性を達成
- 8.3 中小零細企業の設立や成長を奨励
- 8.4 環境悪化させない経済成長
- 8.9 持続的な観光業の促進
- 9.2 包括的・持続的な産業化促進
- 12.b 雇用創出、地元品販促、観光業にもたらす影響のモニタリング ツールを開発



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です



開発途上国における環境・健康とSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



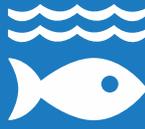
12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

開発途上国における環境・健康とSDGs



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

- 13.2 気候変動対策計画
- 13.3 気候変動関連教育、人的能力などの改善



- 12.8 持続的開発・自然調和型ライフスタイル



- 4.7 持続可能な開発のための教育ライフスタイルの推進



- 8.4 環境悪化させない経済成長



- 9.4 資源利用効率の向上とクリーン技術の導入拡大



- 12.4 環境に配慮した廃棄物管理



- 6.2 下水施設・衛生施設へのアクセス

- 6.3 水質の改善

- 6.4 水の利用効率改善

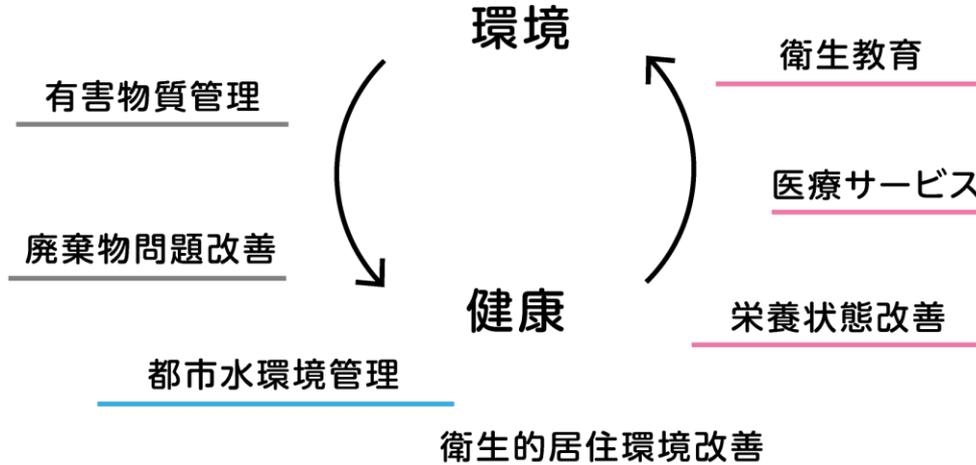
- 6.6 生態系の保護・回復

- 6.a 国際協力と人材育成支援

- 6.b 地域コミュニティの参加を支援

大気汚染改善

ライフスタイル変化



- 3.7 伝染病の根絶や感染症に対処
- 3.8 良質の基礎的保健サービスへのアクセス
- 3.9 汚染による病気等の減少
- 3.c 健財政及び保健人材
- 3.d 早期警告、危険因子緩和・管理能力開発



- 15.1 生態系サービスの保全、回復、利用
- 15.4 山地生態系の保全を確保



- 11.3 包括的かつ持続的な都市化を促進
- 11.6 都市の環境上の悪影響を軽減
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセス¹⁰